

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）



地域に根ざし、世界に開く

コラボ通信

第10号
2007年7月27日

暑い毎日が続きますが、いかがお過ごしですか?? コラボ通信第10号夏休み直前スペシャルです!!

今回も、学生の活躍・活動紹介もたくさんのお届けします★

(本誌は、CCC学生スタッフが企画・作成しています)

目次

①…目次・エコのつぼみ紹介

「エアコンスイッチ 28℃ポスター」は見てくれました?

②…インターンシップ企業の方との対談

③…インターンシップ情報

今年インターン研修に参加する学生は必見です!

④…ボランティア活動報告

淑徳学生、こんなボランティアに参加しています★

⑤…めいどうボランティア展 inCCC 報告

地域の方々とのコラボレーションです!!

⑥…CCC開設科目活動報告

こんな授業を行っています!!



は、この夏も

地域のために、世界のために、

自分のために・・・

走るあなたをサポートします



ホームページ
随時更新中!!



みなさんの夏休みの
ボランティア活動、イン
ターンシップ、心から応
援しています!

夏休みもCCCは平日
毎日オープンしていま
す。気軽に遊びに来てく
ださいね。

活動第1弾!!!

学生と企業の協働活動



「地球環境清浄化～はじめてみよう、エコアクションwith エアコン」

はじめまして、私達「エコのつぼみ」は、エコ（エコロジー）のつぼみが花開くようにと願いを込めて付けられた名前です。昨年度に引き続き、CCC の協力のもと、中部電力㈱と協働による環境を守るための「エコの輪」活動を行っています。

エアコンは、私たちの学校生活において欠かすことのできない存在になっています。しかし、誰もいない部屋のエアコンがつけっぱなしになっていたり、みんなが寒いと思うような温度設定にされていたり・・・という現状があります。そこで、学内の皆さんに問題意識をもってもらうことを目的とし、この現状を改善する啓発活動が星が丘キャンパス内にて実施中です。



★ポスター製作みんなで頑張っています★

「エコのつぼみ」メンバー 文化創造学部 2年生 船橋明里
今回は、皆さんの身近にある環境問題について考えてもらうきっかけとして、まずは私達の身近にあるエアコンについて取り上げました。エコのメンバーで何回も話し合い、ポスター、ビラ、スイッチの所の張り紙、交流ラウンジの問題看板などみなさんに見てもらえるような工夫をしました。

「人と地球に優しい 28℃」をみなさんに意識してもらえたらうれしいです。皆さんで少しずつエコアクション始めていきましょう★

インターンシップ情報 vol.1

前号に引き続き、今回もインターンシップを受けて入れてくださる企業の方にお話を聞きました。今号は、中部電力株式会社広報部広告・文化グループ長の方にインタビューしました。

Q1.インターンシップと、職員（社員）として求める人材は違うのでしょうか。

今回の中部電力の企画は、「広報」という、企業にとってはとても重要な仕事を体験していただくというものです。でも、「**広報の仕事にとって一番大切なことは、企業の立場を意識しながら、「お客さまと同じ気持ちになること」**です。愛知淑徳大学の皆さんは弊社にとって大切なお客さまですから、ご自身の立場から広報の仕事に臨んでいただくのが最もいいと考えています。

Q2.こんな学生はお断りトップ3を教えてください。

広報セクションの人は、惹きつけるような魅力を持っていて欲しいので、常に好奇心旺盛であってほしいですね。また、広報はコミュニケーションですから、そういう観点では「上手に聴く」ことができることも大切でしょう。そして、広報の仕事は「正解がない」とも言われますから、積極的にトライしていただけることも重要です。



Q3.インターンシップを通して学んで欲しいことは何ですか？

インターンシップ期間中に持って欲しい心構えはありますか？

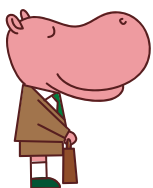
今回の中部電力の企画では、電気やエネルギーについてのPRの手法を自ら企画して、学内でPRを実践していただく部分があります。また、その経験をメディアに売り込んで「記事にする」ということもあります。どちらも初めての経験になるでしょうが、**度胸があれば大丈夫!!** 楽しんでやりましょう!!

Q4.学生生活の中でのインターンシップの位置づけはどのように考えていますか？

私自身が学生であった時期は今から20年も遡らなければなりませんが… 当時、そういう制度があったら自分が歩む人生もまた少し違ったのではないかと想像しております。

Q5.インターンシップで学生を受け入れる理由を教えてください。

中部電力は、地域の皆さまと共に発展することをとても大切に考えております。地域や社会、国際的な舞台で今後おおいに活躍されるであろう学生の皆さんに幅広い可能性を体得していただけるよう微力ですが貢献したいと考えております。



「インターンシップ」は、様々な人達の協力があって成り立っていることがよくわかりますね。この貴重なチャンスを私たち学生は存分に生かして、残りの大学生活の過ごし方や今後の進路を考えていけるように頑張りましょう！

今回の中部電力担当者の方のコメントは、インターンシップに参加する学生でなくとも、イベント企画等に携わっている学生にとっても、参考になるアドバイスであったと思います。

インターンシップ情報 vol.2

今年度・昨年度のインターンシップ研修に参加した2人の学生に、突撃インタビューをしました！
今後インターンシップに参加する学生は、是非参考にしてください。



[[インタビューした2人の学生]]

研修先: (株)インターネットイニシアティブ
ビジネス学部 4年生
原田 良美 さん



研修先: (株)日本航空
インターナショナル
文学部 3年生
加藤 かおり さん

Q1. インターンシップに参加しようと思った動機を教えてください。

原田さん: 歴代の先輩方が苦労していると聞き、挑戦したかったから。

加藤さん: 興味のある航空業界であったし、仕事に対する責任や想い、情熱などを実際に働くことで学べると思いました。JALの制服を着ることに憧れていました。

Q2. 研修中にどんなことをしましたか？

原田さん: インターネットの概要をはじめ、新サービス企画などの企画もさせて頂きました。

加藤さん: 到着業務、カウンター業務、出発業務、機内持ち込み制限品運び、また飛行機内見学もさせて頂きました。

Q3. 研修中に、つらかったことや大変だったことはありましたか？

原田さん: 毎日が辛くて大変でした。自由に出来る代わりに、何でも自分達で決めなければならないことが予想以上に大変でした。

加藤さん: 予想以上にハードな仕事でした。とにかく走る走る！とても体力がいるんだと実感できました。また、常に笑顔や姿勢、言葉遣いにも注意を払うこと、空港全体のことも把握しなくてはならないことが大変でした。

Q4. 研修後、参加した企業に対してのイメージは変わりましたか？

原田さん: 大好きになりました！！大好き過ぎて来年から働けることになりました(笑) インターンシップでお世話になった以上に会社のために働きたいと思っています。

加藤さん: 華やかなイメージを持っていたがすごく変わりました。見えない所でも様々な大変な仕事があり、それぞれの仕事の持つ意味や、社員の方の想いや苦労などもよく知ることができました。

Q5. インターンシップ研修参加で、学んだ事や得た事は何か？

原田さん: たくさんあり一言では言い切れません。でも、インターンシップでは良い意味で自分をぶち壊してもらえました。その結果、自分でも成長したな、とすごく思います。

加藤さん: みんなが心をつにして業務を行っており、またそこに参加できたことで、チームワークの重要性や、多くのお客さまを相手とするので、コミュニケーション能力の必要性も感じました。体力や精神力のいる大変な仕事でありましたが、それ以上に「仕事に対するやりがい」の大切さを学びました。

Q6. 研修中のビックリ話があったら教えてください。

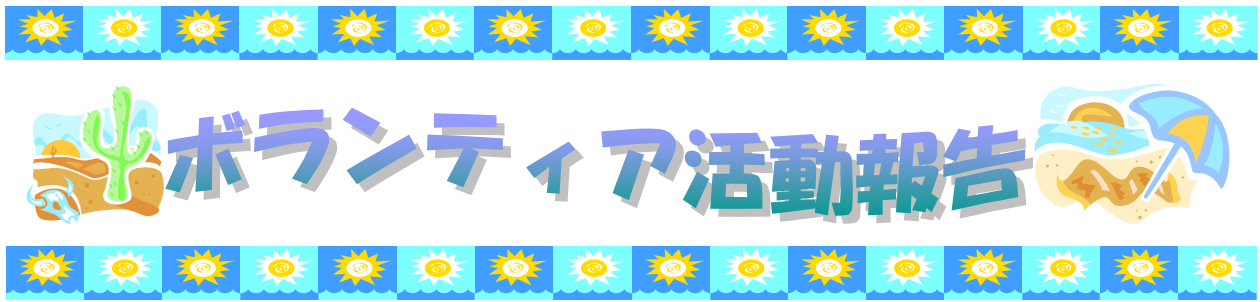
原田さん: 企画が進まなかったときに、社員の方々は仕事があるにも関わらず、集まって下さり、そして一緒に考えて下さった時です。こんなにも暖かい会社があるのだなと、とても感動しました。

加藤さん: やはりVIPのお客さまは多いそうです。芸能人もたくさん間近で見かけたり、接客したりするそうです。社員としての飛行機乗務における特典にも驚きました。

Q7. これから、インターンシップに参加する学生にむけて、「これは重要だ!!!」ということはありませんか???

原田さん: 緊張するかもしれませんが、自分から積極的に企業の方に話しかけてみてください。色々な話が聞けて、視野が広がるきっかけになると思います。

加藤さん: これは社員の方にも言われたことですが、やはり「素直さ」は大切だそうです。分からないのは当たり前なので、たくさんの方の話を聞いたりして興味を持って取り組むこと。学ぶことはすごく多くあると思うので、いろんなことを吸収して、向上心を持って行うことは重要だと思います。



6月～7月の間、多くの学生がボランティア活動に参加しました！！
 このページでは、参加した学生の声を紹介します。皆さんぜひ一歩踏み出してみてください★

障がい者の方との交流

森考しぜんかんでピース作りのお手伝いに参加しました！！
医療福祉学部 1年生 溝口 琴子 さん

いつもにこやかにしゃべっている方、黙々と作業をやり続けている方と、自分の世界を持っている方と様々な個性があるなと思いました。しかし私は今日初めてお会いしたので、戸惑ってしまったこともありました。次の機会からはもっと理解できるようになりたいです。



企業の社会貢献活動

(株)DENSO海外支援衣料回収活動に参加しました！！
ビジネス学部 3年生 浅野 博哉 さん

今回刈谷市にある(株)デンソーのボランティア活動に参加しました。ボランティアの内容は、デンソーの社員さんや地域の方々から寄付していただいた衣料用品を箱詰めして外国に送るというものでした。

参加者はデンソーの社員さんはもちろん、地域の方々もいて、このボランティアが地域に根付いていることに驚きました。作業中やお昼ごはんの時、同じ授業を受けている学生や地域の方々とお話することができ、充実した時間を過ごすことが出来ました。朝早かったのですが、このボランティアを通じて様々なことを学ぶことができました。これからもボランティア活動に参加していきたいです。



当日は淑徳生が 45 人ほど参加しました！



衣料用品を箱詰めする浅野くん(右)

子どもとの交流

**中村児童館にてラムネとべっこう飴作りの
 お手伝いに挑戦しました！！**

コミュニケーション学部 3年生 上田 菜未さん

子ども達がすごくかわいくて、「先生」と呼ばれるのが嬉しかったです。とても楽しい経験が出来てよかったです。

～児童館の担当者さんより～



子どもたちが困っている時に、さりげなく助けられていたところが素敵でした。経験を積んで、これからもっとコミュニケーションの取り方が上手になっていくと思うので、また遊びに来てください。

めいとうボランティア展in愛知淑徳大学

～地域と学生のコラボレーション～

7月13日(金)、14日(土)の2日間、星が丘キャンパス1号館にて、主に名東区を拠点とするボランティア団体や福祉施設・関係機関などが一堂に集い、ボランティア活動紹介や相談などを行うボランティア展が開催されました。淑徳生と地域で活躍する方々で実行委員を構成し、4月より会議を重ね、準備しました。名古屋地域では初めての試みでしたが、悪天候にもかかわらず、2日間で約600人の参加・来場者がありました。

(CCC開設科目のコミュニティ・サービスラーニングの授業の一環として実施しました)

■実行委員(広報担当)■

名東区社会福祉協議会ボランティアコーディネーター
小林 陽 氏

名東区で活躍しているボランティア団体や福祉施設についてみなさんに“生”で知ってもらいたいという思いをカタチにした「めいとうボランティア展」。

当日はあいにくの天候にも関わらず来て頂いた方々にボランティアの楽しさを伝えることができ、またボランティアをしている側とボランティアを求めている側が交流を通して結果を深めることができました。



淑徳生と地域の方々と構成された実行委員メンバー



地域で活躍する方々のお話をうかがいました。とても素敵なお話でした☆



障がい者スポーツ・体験コーナーに参加する学生

大阪ボランティア協会 事務局長 早瀬 昇 氏 講演会

「ボランティア活動を100倍楽しむ方法、教えます！」

学部を問わず多くの学生・地域の方々が多く参加し、会場が満席となりました。1時間半の講演会、常に笑い声が絶えず、また心に響くボランティアについてのお話をとても分かりやすく、楽しくお話して頂きました。

■実行委員(企画担当)■

文化創造学部 3年生 伊藤愛里さん

地域の方々と一緒に何かを作りあげるという事はとても素敵な事だと思いました。地域の為に一生懸命活動している方の言葉は心に響き、自分も何かやりたいという思いが込み上げてきました。今回のように、地域と大学がコラボして、地域のことにについて知ったり考えたりする機会がもっと増えてほしいと思います。

講演会の中で紹介されました『知られない愛について』(大阪ボラ協会発行)については、CCCまで！

★ボランティアに興味がある学生必読です★

医療福祉学部 4年生 樋口かをるさん
(当日ボランティアスタッフ)

「ボランティアは自分の関心から始まり、いくつもの可能性を秘めているものである」と教えていただきました。楽しいお話を聞くことができ、元気が出ました。



講演会では、手話と要約筆記ボランティアの方々にもご協力いただきました。



超満員の会場

CCC開設科目活動紹介

地域活動総合演習Ⅰ

●小林 三太郎 先生●星が丘キャンパス 火曜・3限

日本における医療・福祉の現状や課題を学び、実際に地域の病院や福祉施設に訪問して課外授業を行っています。

6/12 名東老人保健施設訪問 文化創造学部 2年生 大西彩夏さん

この授業で少し認知症について学びましたが、実際に認知症の方と接してみると、自分が思っていたよりも重度な病気なのだと知り、驚きました。フラワーアレンジメントならば簡単に楽しくできると思っていたけれど、力のない人や、手が震える人もいて難しかったです。出来上がった作品は思い描いていたイメージとは少し違ったけれど、利用者の方々はとても喜んでくれました。大したことしていないのに何度もお礼を言われて、私の方こそ感謝の気持ちでいっぱいになりました。



6/23 木村病院訪問 ビジネス学部 3年生 脇山和恵さん

リハビリやバリアフリーなどの言葉が元々は健常者の生活中から生まれたという話や、病院の中で気を付けるべきこと、そして、診察というのは患者さんを診るだけでなく、「最近どうですか？」などと、会話をしてコミュニケーションをとることが大切だということを知ることができました。車いすに乗ったり、リハビリをしている患者さんの様子を見たりもして、たくさんの良い経験をすることができました。今回学んだことを、自分の祖父母や両親が歳をとったときに活かしていきたいです。

コミュニティ・サービスラーニング

●小島 祥美 先生●長久手キャンパス 火曜・5限

「愛知淑徳大学がもし 8,000 人のエコ集団だったら…」(略して、しゅく ECO)

コミュニケーション学部 3年 金井 綾美さん

これは、「コミュニティ・サービスラーニング」という授業の一環で、愛知県や EXPO エコマネーセンター等との協働事業として行われています。私たちの挑戦は「愛知淑徳大学の学生の皆さんに環境にやさしい行動に参加していただき、エコマネーを貯めてもらい、そしてそのポイントを活用して地域貢献をめざした環境活動を行う」というものです。

私たちは全ての学生と教職員を対象に、エコに対して興味を持ってもらいたいという願いをこめて活動しています。

しゅく ECO の 1 番簡単な参加方法は、公共交通機関を利用する際に万博入場券を機械にかざすだけ！その他、参加方法はたくさんあります。そして、一度エコに参加すると、環境に対する意識も大きく変わります。今からでも遅くありません。身近なところから参加できるこのしゅく ECO にぜひ参加してみませんか？

(他:杉江麻理さん、加藤智美さん、福永聡史さん、成瀬智子さん)



～編集後記～ いよいよ夏休み！！大学 4 年間の貴重な時間、何か一歩踏み出してみてください。また報告お待ちしておりますね★ (N.Y)

愛知淑徳大学

コミュニティ・
コラボレーションセンター

社会とともに、
未来とともに。



CCCに関するお問い合わせは…

E-mail: asccc@asu.aasa.ac.jp